

「キャンプ支援ボランティア」として 中学生 35 人が活躍！

「みぶっ子ドキドキサマーキャンプ」で、小学生のリーダー役として活動した中学生のみなさん、お疲れさまでした！

8月3日（金）～5日（日）に小学生対象サマーキャンプ（主催 壬生町子ども会育成会連絡協議会・壬生町教育委員会）が壬生町嘉陽が丘ふれあい広場で行われ、35名の中学生がキャンプ支援ボランティアとして活動しました。



「事前研修：スタッフミーティング」

小学生への接し方について確認し、スタッフ意識を高めました。



「事前研修・薪割り練習」

「なた」の安全な操作法について、町子連サポーターから学びました。



「事前研修：野外炊飯の練習」

上手に炊飯ができるよう、かまどの管理方法について学びました。



「使用する用具等の準備」

キャンプで使用する用具を揃え、おかげで円滑に生活できました。



「冷たい麦茶を常備」

熱中症にならぬよう、約100人分の麦茶を常備しました。



「町社会福祉協議会との協働」

思いやりの気持ちを高めるレクリエーションを後方支援しました。



「笑顔で元気に受付」

緊張した表情の小学生を笑顔で明るく出迎えました。



「野外調理のサポート」

小学生が行う野外調理を温かく優しいまなざしでサポートしました。



「みんなで楽しく食事」

小学生、中・高校生、町子連スタッフ等と一緒に楽しく食べました。



「感動のキャンプファイヤー」

火の粉が舞う静寂な森の中で、楽しいレクが行われ盛り上がりました。



「退所式での中学生あいさつ」

3日間をふりかえり、小学生へのエールを送りました。



「再会を祈念してハイタッチ」

退所式後、小学生を笑顔で見送りし、来年の再会を約束しました。



- はじめのうちは小学生をうまくサポートできなかったけれど、2日目、3日目は次第に慣れてきて、初日より上手に声かけができるようになってきました。（中1女子）
- 僕は「人の役に立ちたい」と思って参加しました。今回、人の役に立てて良かったです。来年も参加したいです。（中1男子）
- 最後に小学生と交換した寄せ書きに、「大好き！」という言葉があり、とても嬉しかった。このキャンプ支援をとおして、心配りができるようになったと思う。（中1女子）
- はじめは不安でしたが、他のスタッフとの交流をとおして不安な気持ちが吹き飛びました。ものすごく達成感があり、自信ができました。（中2女子）
- 「キャンプ支援ボランティア」では大変お世話になりました。息子は何ヶ月前から参加したくてたまらなかつたみたいです。他のボランティアスタッフと仲良く協力して過ごすことができ、本人もとても満足した様子です。「また来年も参加するんだ」と笑顔で帰ってきました。（参加した中学生の保護者からの手紙）